

絵葉書の効能と平川義浩富士山絵葉書コレクション

〈静岡県富士山世界遺産センター 学芸課 准教授 井上 卓哉〉

約9 cm×14 cmの小さな画面に様々なテーマの写真や絵柄が掲載された絵葉書。現在でも、メッセージが添えられた絵葉書を親しい人に送ったり、送られたりした経験のある方がいらっしゃるのではないのでしょうか？

明治時代中期から昭和初期にかけての時期には、このような絵葉書を使って様々な情報をやり取りするという文化は、メールやSNSが一般的になった現在では想像出来ないほど広く流行し、当時の人々は日々発行される様々な絵葉書に熱狂していました。その熱狂ぶりを現在に伝えるエピソードとして、明治39年（1906）4月29日に発行された『明治三十七八年戦役凱旋観兵式記念絵葉書』を購入するために多くの人々が長い列を作り、列に並んだ少年2人が窒息死するという大きな混乱が起こったことが伝えられ、さらにその事件を題材にした絵葉書が発行されていることなどが挙げられます（写真1）。

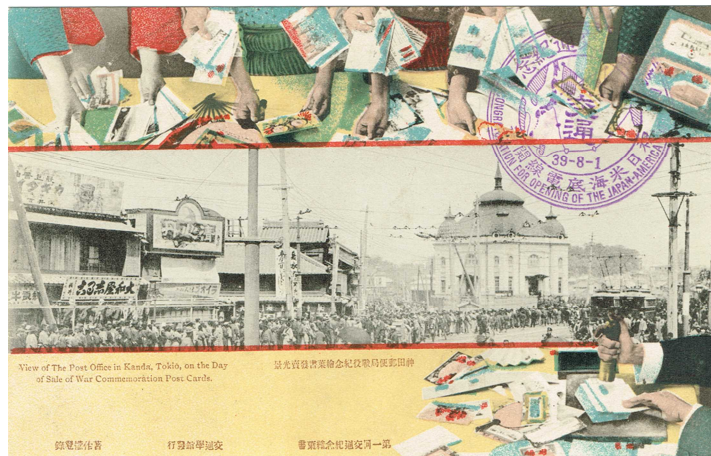


写真1 神田郵便局戦役記念絵葉書発売風景

なぜ、当時の人々がそれほどまでに絵葉書に熱狂したのか？大正14年（1925）に発行された『記念絵葉書類鑑』（大内市郎編、淡路絵葉書倶楽部発行）には、その理由として、以下の5点の効能の存在が指摘されています。

- 第一 無精ものが長たらしい言譯げんたんを書かずとも、絵葉書一枚で受信者に快感あたを與へる事特に旅行先の通信に妙なり
- 第二 社会の出来事を報ずるに通信文を授けて受信者に感じを深からしむる事
- 第三 安価にして記念事業を普遍せしむる事
- 第四 此の蒐集しゅうしゅうはあらゆる変遷の歴史を雄弁に語り得ること
- 第五 書画骨董のようなブル（ブルジョア）階級の道楽と異なりプロ（プロレタリア）でも容易に蒐集し得るの便なる事

第一の効能では、当時の絵葉書は旅の感動を簡単に共有することができる媒体であったこと、第二の効能では、現在のようにテレビやインターネットがなかった時代において、社会の出来事をスピーディに伝えることができる媒体であったことが記されています。また、第三の効能で示されているように、様々な記念事業を広く告知することが可能な媒体でもあり、国家的な様々なイベントなどには欠かすことが出来なかった存在であった様子うかがえます。そして、第五の効能に示されているように、手に入れやすい価格であったため、人々の

収集欲を簡単に刺激するものでもあったのです。絵葉書がこうした効能を持っているがゆえに、発売日には長い行列ができるほど人々が集まり、そして、その様子さえ絵葉書の題材になっていたのです。

さらに、第四の効能では、一定数集められた絵葉書のコレクションは、様々な変化を雄弁に語るものとなるということが示されています。令和4年度に、日本屈指の絵葉書コレクターである平川義浩氏から静岡県富士山世界遺産センターにご寄贈いただいた富士山絵葉書のコレクション（全1,834点）の分析からは、この効能について多様な形で知ることができます。

たとえば、昭和初期から戦前の時期にかけては、戦争を支持するための世論形成や戦費を獲得することを目的とした記念絵葉書や宣伝絵葉書の枚数が増加していますが、その中で富士山が日本を示すイメージとして用いられていたことや（写真2）、大正から昭和期にかけての時期に富士山の周辺で盛んに観光開発がおこなわれたことに対応して、この時期に発行された富士山を題材とした観光案内の絵葉書が増加するといったことなどが指摘できます（写真3）。

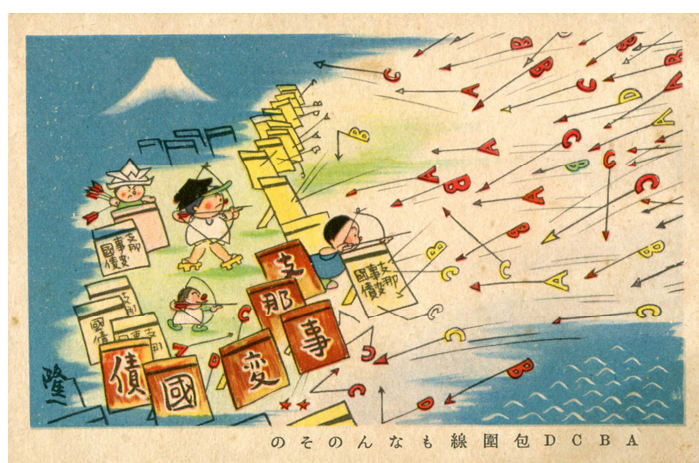


写真2 ABCD包囲戦もなんのその

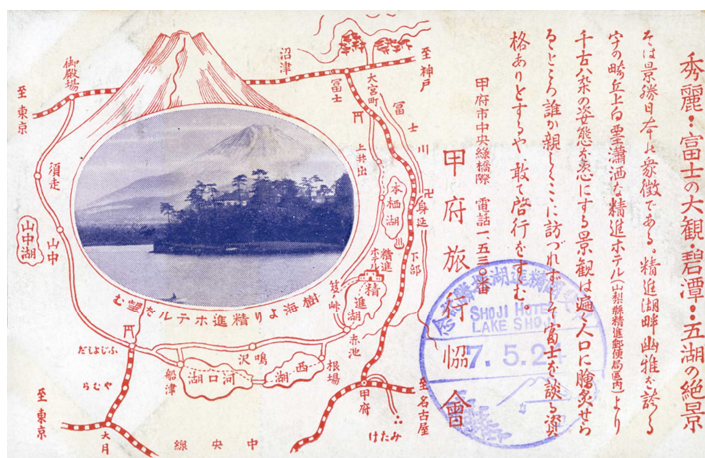


写真3 秀麗！富士の大観・碧潭！五湖の絶景

これらは先に述べた第四の視点である、「此の蒐集はあらゆる変遷の歴史を雄弁に語り得ること」を示す一例に過ぎませんが、様々な角度からこのコレクションを分析することで、富士山を巡る様々な事象の変遷の姿を知ることができるという意味において、非常に重要な価値を有しているといえるでしょう。

静岡県富士山世界遺産センターでは、平川義浩氏からの寄贈を記念して、令和5年10月7日（土）から12月3日（日）まで、同氏の富士山絵葉書コレクションを広く紹介する「富士を介して信を通じる～平川義浩富士山絵葉書コレクションにみる富士山の姿～」展を開催します。絵葉書の中に登場する富士山の様々な姿をとおして、当時の人々が富士山に込めた願いを感じてみませんか。